

2013-14 年度 R I テーマ



人間ロータリークラブ Weekly Report



2013-2014 R I 会長：ロン D. パートン
 R I 第 2570 地区ガバナー：中井 眞一郎
 会長：友野 政彦 幹事：西山 祐三
 例会日：木曜日 12：30～13：30
 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケット・ホール
 Tel. 04-2963-1111

会報委員長：関谷 永久 当番：木下 登
 事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号
 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 10 号 2778 回例会 2013 年 9 月 12 日 (木) 例会場：武蔵クラブに変更

< 今月のお祝い >

会員誕生日	関根靖郎君 (喜寿祝) 間野 尚君 友野政彦君 平岡達也君 中澤孝芳君
夫人誕生日	岩崎芳江様 吉沢真紀子様
結婚記念日	諸井克彦君

< 10 月のプログラム >

	当番	内容
3 日	齋藤栄	卓話 米山奨学生 スーパー トル・ジャウフラント様
10 日		入間南 RC との合同夜間例会
17 日	齋藤金	卓話 齋藤金作会員 「米山梅吉と其の周辺」
24 日		10/27, 28 万燈まつりに振替
31 日		万燈まつり慰労会 夜間例会

ビジター・ゲスト

トヨタ東京 自動車大学校 大野木 憲司 様
 米山記念奨学生 スーパートル・ジャウフラント様

会長の時間 友野政彦会長

先週のガバナー公式訪問は皆様方のご協力により無事終了する事が出来、感謝いたします。

さて、既にご存知のとおり日曜日の早朝に、2020年に2度目のオリンピックが東京で開催されることが決まりました。招致に成功したのは、まずは招致委員会の功績ですが、安部首相を初め政府の力の入れようも失敗に終わった前回(16年)とはずいぶん違っていただけに感じました。株式市場も週明けは全面高でしたし五輪開催による経済効果は約3兆円とも言われ、どうやらこれで増税の環境が整いそうです。

また、IOC総会でのプレゼンテーションも本当に見事でした。皆さん素晴らしかったのですが、とりわけ先陣を切られた高円宮妃久子様の存在は大きかったと思いました。久子様の夫君、高円

宮憲仁親王は三笠宮家の三男として誕生、学習院大学法学部卒業後カナダのクイーンズ大学に留学され、帰国後は国際交流基金で嘱託となり公務の傍ら一般職員同様に勤務されました。憲仁親王は皇室のスポークスマンを自認、気軽にテレビ出演をされたり、スポーツ特にサッカーの振興・発展にご尽力され、日本サッカー協会の名誉総裁も務められています。2002年の日韓ワールドカップの際には戦後初めて、皇族として韓国を公式訪問されました。しかし今後益々のご活躍が期待される中、同年11月心不全にて薨去されています。

震災地支援への感謝と共に皇室のスポーツ振興の活動を、流暢なフランス語で(私はフランス語が話せませんので流暢に聞こえたというのが正確ですが)お話された久子様は憲仁親王の遺志を立派に継がれており、大変感激いたしました。

幹事報告 西山祐三幹事

第3回定例理事会報告 <協議事項>

1. 10月、11月のプログラムについて
2. 新旧役員慰労会会計報告

<報告事項>

1. 9月21日 青少年奉仕セミナー
2. 米山普通寄付・R財団会員協力寄付 納入
3. 9月 ロータリーレート 1\$ 100円
4. 9月20日 秋の全国交通安全運動出陣式
5. 10月2日 入間市戦没者追悼式

●委員長報告

プログラム委員会

晝間和弘委員長

10月のプログラムは表記どおりです。尚、来週の卓話は会員増強委員会が行ないます。

ロータリー美術館

齋藤金作委員長

先週のガバナー公式訪問での美術館には皆様のご協力を頂きありがとうございました。

2020年五輪開催地が東京に決定した事に元気を貰い感慨深く、今日はオリンピックとロータリーの結び付けについて少し話させていただきます。

国立競技場の聖火台に 49 年前に灯もされた聖火が静かに赤々と燃えています。この聖火台は 1961 年 5 月に東京 RC がホストとなり、第 52 回国際大会を晴海で開催、成功の記念事業として 22 のホスト(東京)クラブと共に寄贈されたものです。又、東京五輪の年 2020 年はロータリーが創設されてから満 100 歳を数える記念すべき年です。1964 年の五輪は戦後の復興を世界に示した大会であったが、2020 年の大会は多くの遺産と未来に残すものであって欲しいと願います。

社会奉仕委員会 滝沢文夫委員長

9/7 に地区社会奉仕セミナーに参加して来ました。まず、基調講演に松本光司地区財団委員長長の「社会奉仕と財団の補助金の活用法」と題した講演を拝聴。社会奉仕事業の資金的なバックボーンになる財団補助金の説明、次に地区社会奉仕担当委員会より事業説明とお願いがありました。

1. 地域社会奉仕委員会より、当クラブの齋藤栄作会員が担当委員長として説明。各クラブでの社会奉仕事業の活動事例として、入間 RC 及び新狭山 RC の活動報告があり、今年度も各クラブの報告を戴きデータベース化を勧めたい。又、希望の風奨学金の引き続きの協力お願いがありました。
2. 世界遺産登録推進委員会より、世界遺産キャラバン受入のお願いがあり、県下全体での世界遺産登録の機運を盛り上げようとしています。
3. アイバンク委員会より、今年度は各クラブの社会奉仕委員長を始め、出来れば 5 名の登録をお願いしたい。これに対応して忽滑谷会員と滝沢会員が登録を表明しています。
4. ブライダル委員会より、この委員会ではロータリアンの子息、子女、及びロータリアンの紹介の得られる方を対象にしており、当クラブは吉永会員に登録される方はご相談をお願いします。

国際奉仕委員会 吉沢誠十委員長

9/7.8 と米山奨学生の研修旅行に奨学生のジトと、忽滑谷会員と私とで行って参りました。総勢 30 名で、静岡にある米沢梅吉記念館での研修後、お墓参りを済ませ、箱根湯本温泉での楽しい懇親会でした。米山記念館で歴代ガバナー「257 地区 繁田正一」の名前を見て非常に感激いたしました。10 月は米山月間でもあり、3 日のジトの卓話を宜しくお願いします。

< 出席報告 > 木下登出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39 名	31 名	79.4%	89.4%

事前欠席連絡 7 名

< ニコニコ BOX > 滝沢文夫 S A A

後藤賢治君～お蔭様で 2020 東京五輪が開催されます。友野政彦君、西山祐三君、岩崎茂君～加藤さん写真ありがとうございます。関根靖郎君～お祝いありがとうございます。晝間和弘君、田中快枝君～大野木様、卓話楽しみにしています。山岸義弘君～早退します。

本日 ¥55,000 累計 ¥258,000

講師卓話

「これからのハイブリッド」

トヨタ東京 自動車大学校 大野木 憲司 様



前回もお話した様にハイブリッドについてですが、HV には大きく分けて「エンジンがメインでモーターが補助」と「モーターがメインでエンジンが補助」の 2 種類があります。

価格は高いですが、最近のプラグインハイブリッド(PHV)は家庭で充電でき、駅迄の往復(車のユーザーの約 50%は 1 日の走行距離が 20km 以下)位なら、EV だけで走行出来るようになりました。

その秘密は? 大容量で軽量、大電流にも対応できるリチウムイオンバッテリーが開発された事によります。日産リーフもこのバッテリーが搭載。

次にハイブリットがこうなると良いなどのユーザーにお聞きしたお声を例に上げますと①毎日の充電はちょっと面倒 ②定位置への駐車、自動充電できる ③非接触で大電流流せる ④外出先で充電したまま食事やショッピング ⑤充電コネクタ盗難ロック装置 ⑥スマートハウスと連携して、太陽光で充電したり、災害時の電源にもなる ⑦スマホと連動してエアコンの遠隔操作や全国のユーザーと燃費が比べられる等です。

プリウス以外のエコカーでは、ディーゼルエンジン(マツダ CX5)・エンジンのダウンサイジング(VW ゴルフが有名)があります。

若い人へのエコで安全なカーライフの交通安全呼びかけでは、スピードさえ出さなければ・・・死亡事故は大きく減らせる。普通の呼びかけだと「スピードを出すな」「事故をしたら大変なことになる!」ですが、自分の学生には「**ゆっくり走ると楽しい**」路面の凸凹が分かったり、他の車の動きが良くわかり、車の装置の作動もわかるこの楽しさが解ると病みつきになると話しています。

経験上の理屈から、クルマ好きにも機械好きで、乗り物全般が好きで自分で修理して運転もできるが機械に夢中でコミュニケーションが苦手な方向に進んでしまう恐れもあるが、ゆっくり走る楽しさはわかってくれるメカマニアタイプと車に感情移入して、人間の限界を軽く超えられる車で、速く走るのが快感。コツコツ勉強するのはチョットでも勉強の面白さが解って自信がつくと協力的リーダーになれそうなタイプです。これから社会に出る若者に色々伝える立場におり、特に交通事故防止に力を入れていきたいと思ひます。

■ 回覧、配布物

- ① 埼玉県腎・アイバンク協会「愛の光を」
- ② 第 12 回ロータリー全国囲碁大会ご案内
- ③ 「ロータリーの友」英語版 11 中旬発行お知らせ
- ④ 親睦家族旅行出欠表&関係パンフレット
- ⑤ ガバナー月信 2013 Vol.3
- ⑥ 他クラブ週報&例会変更のお知らせ

会報委員会 (関谷・平岡・忽滑谷)